



札幌市サッカースポーツ少年団 室内サッカー大会 〈6年の部〉

優勝 北郷
準優勝 アンフィニ MAKIFCU-12
第3位 西野第二
第3位 フォーザ SC

各区で激戦をものにした代表32チームが、優勝を目指し、熱戦を繰り広げました。6年生にとっては札幌市少年団連盟の最後の大会の頂点に立ったチームは北郷少年団でした。

決勝		
2月11日(木) 八軒北小学校体育館		
北郷	アンフィニ FCMAKIU-12	
8	2-1 3-2 3-0	3

1 ペリオドは互いにゆっくりボールを動かし様子をうかがう。

動いたのは2分半、アンフィニの11番がサイドでボールを奪いドリブルでしかけシュートで先制！しかし1分後、自陣でのボールポゼッションでエラーが出る。これを見逃さない北郷19番がつめて早くも同点。すぐさま、10番のミドルシュートが決まり逆転に成功。その後は北郷が4人の多くのかかわりを駆使し優勢にゲームを進め2-1で終了。

2 ペリオドも北郷の勢いが止まらない。1分には華麗なパスワークから8番が決めて3点目。このまま終われないアンフィニは8番を中心にゲームを変化させようとする。すると3分半、アンフィニの8番がミドルシュートを決めて1点差に詰め寄

きずな

る。この後は怒涛のゴールラッシュ！5分、北郷の8番のシュートで突き離すがすぐさまアンフィニのパスワークから3番が決める。しかしすぐに北郷20番が決め、結果5-3北郷リードで終える。

3 ペリオドは点差で優位に立つ北郷が10番を中心に緩急のある攻撃でアンフィニゴールを脅かす。追いつきたいアンフィニは10番を中心にボールを動かすが前線でボールが収まらず厳しい展開。すると5分、北郷の21番が自陣のピンチをしのいだ後、ドリブルで3人かわしそのままゴールを奪う。立て続けにフリーキックを8番が決めて7-3。さらに10番がダメ押しの技ありシュートで8-3、これでタイムアップ。

得点差もさることながら内容も圧倒的な北郷が優勝を勝ち取った。





準決勝		
2月11日(木) 八軒北小学校体育館		
西野第二	アンフィニ FCMAKIU-12	
4	3-1 1-3 0-0 (0-1)	5

第一ピリオドは西野第二のキックオフで開始。アンフィニは後方の10番を中心にボールを動かしてゲームを作る。一方、西野第二は前線の11番にボールを集め、そこを起点に攻撃の糸口を探る。

ゲームが動いたのは3分30秒、アンフィニのボールを奪った12番のシュートをアンフィニのGKが止めるがこぼれる。これを西野第二の11番がつめて先制！5分には18番がコーナーキックをワンタッチシュートで決めて追加点。すぐさま11番がドリブルで切れ込み決める。あっという間に3点差。負けじとアンフィニは残り30秒に11番が1点返して3-1で終了。

2ピリオドは打って変わってボールを支配するアンフィニ。

しかし、イージーなパスミスや西野第二の激しいプレッシャーにボールを失いカウンターを受ける展開。しかし3分、徐々にペースを握るアンフィニが西野第二ゴール前で混成の中8番が決めて1点差に詰め寄る。だがすぐさま、西野第二33番がGKのタイミングをはずす技ありシュートで寄せ付けぬ。

このまま終わるかと思った残り1分、アンフィニ8番を起点とした、流れるようなパスワークで3番が決める。すぐに18番がドリブル突破からシュートを決めて同点！スコアは4-4で2ピリオド終了。

同点で迎えた最終ピリオドは全然からの激しいプレッシャーでアンフィニに主導権を握らせない西野第二。半ばを過ぎてても得点こそないが西野第二のペースでゲームが進む。

スコアレスドローで終え、延長戦へ。延長戦ではアンフィニ10番の多彩なパスワークで打って変わっての展開。前半の2分に10番が直接フリーキックを決めて勝ち越し。西野第二11番も孤軍奮闘するが健闘むなしく終了のホイッスル。5-4でアンフィニが決勝へコマを進めた。

準決勝		
2月11日(木) 八軒北小学校体育館		
北郷	フォーザSC	
3	1-0 1-0 1-0	0

開始から怒涛の攻撃を仕掛ける北郷。

開始1分半、早くも北郷10番がキックインからワンタッチシュートで先制！その後も北郷10番を中心に一方的な北郷ペースでゲームが進む。フォーザも前線から激しいプレッシャーをかけ奪ったボールをカウンターで狙うがゴールには至らず。

このままスコアは変わらず2ピリオドへ。

2ピリオドは互いに譲らずの一進一退の展開が続く。フォーザがピッチを広く使い前線の選手を起点にチャンス进行うがなかなか得点には至らない。スコア動かず終了かと思った残り30秒、北郷の21番が奪ったボールをそのまま持ち込みシュート！これが入り、待望の追加点。すぐさま終了のホイッスル。勝負は3ピリオドへ・・・

3ピリオドはフォーザは長身の22番を前線に置き、ボールを集めるがうまく収まらず苦戦。それを奪ってカウンターで北郷、しかし得点へつながらぬ。しかし4分過ぎに北郷が追加点をあげる。これで3-0。最後まで北郷ペースは変わらず決勝進出を決めた。